

四郷小 学校だより

第 15 号
令和 2 年 10 月 26 日

コロナ禍の中の拍手いっばいの運動会、ありがとうございました！

10月21日(水)はコロナ禍のため、低中高学年別の半日開催でしたが、好天の中、安全に終了することができました。開会・閉会式は、校内放送形式で行い、校長から以下のお話をしました。

＜開会式での話＞四郷っ子の一生懸命な姿を見せてください。くいが残らないようにしましょう！

- ・3密防止および熱中症予防、トイレをすましておく等、自分で体調管理を行いましょ。
- ・徒競走は、最後(ゴール)まであきらめない姿を保護者、地域の方に見ていただこう。
- ・表現運動(ダンス)は指先までしっかりと力を入れ、真剣または楽しい表情を見ていただこう。

＜閉会式での話＞拍手いっばいの心温まる運動会でした！

- 徒競走・・・校長が6年生のためにできることとして、6年生徒競走だけ出発係をしました。
 - ・6年生のスタート直前の表情に、よい緊張感が伝わってきたのがよかった。
 - ・徒競走は、全員最後(ゴール)まで走りきれた。スタートも上手であった。
 - ・スピードが速い子は、両手をしっかりと振れている。少しでも速くなるための練習をしてみよう。
- 表現運動・ダンス
 - ・1年…「やってみよう！なんとかなるさ！」の元気な声に励まされた。列から円に変形する動きが速くてびっくりした。そして笑顔が素敵だった。
 - ・2年…両手を大きくあげて、難しいステップを音楽にうまく合わせていてびっくりした。笑顔とキラキラ飾りが素敵だった。
 - ・3・4年…ソーランの激しい動き、大きな掛け声などの元気パワーが、3・4年生にぴったりだった。全身をつかって大きな声を出している子が、体の大きさに関係なくしっかりと目立っていてとてもかっこよかった。ソーランがこれで終わるのが惜しい…。
 - ・5・6年…やわらかい動きを表現するのはとても難しいが、どの子も照れなく全身を使って表現できていて、さすが高学年だと思った。特に4人の動きは素晴らしかった。フラッグ運動は、一転して激しいシンクロの動きと大きな旗の音に驚かされた。4回の礼も、移動が素早かった。

○全体を通して

- ・開会・閉会式の児童代表の言葉、5・6年生表現運動のナレーション、すべて素晴らしかった。
- ・すべての種目、移動が最後まで(退場門まで)走ってできたのが良かった。
- ・6年生の皆さん、5限目の片付けどうぞよろしくお願ひします。
- ・運動場の草取りをしていただいたお家の方に感謝しよう。

＜くろがねもち協議員からの感想・提言＞

- ・表現運動は、コロナ禍の中、動きや接触到制限があり、指導が困難であったことを想像する。しかし、全学年あえて表現運動を選択し、指導された先生方に敬意を表するとともに、四郷っ子(特に6年生)たちにとって、よい思い出になったと思う。
- ・3年生が4年生、5年生が6年生に花を持たせた表現運動(退場前)に感激した。コロナのた

たてわ しゅうだんかつどう ができない中、つながりへの工夫とやさしさが伝わってきた。

いちねんせい ときょうそう ごーるふきん めじるし ほう
・1年生の徒競走、ゴール付近に目印があった方がよい。低中高学年別にしたのはやむを得ない。

＜次年度運動会に向けて＞

た がくねんぶ じゅぎょうちゅう びーじーえむ きょくりよくしやう おおにんずう しゅつせきしや そうてい へいじつかいさい
・他学年部が授業中のためBGMを極力使用しなかったり、大人数の出席者を想定し平日開催にしたり、コロナ感染防止を第一に考えた試行錯誤の運動会でした。次年度の運動会は、今回の反省をもとに協議し、くろがねもち協議員のご提言も参考にしながら、改善していきたいと思えます。最後に、PTA本部役員さんには保護者誘導等、早朝よりお世話になり、感謝申し上げます。